

## 消防車型のローリングストックBOXによる広報活動

神奈川県 横浜市消防局

横浜市消防局では、横浜消防のPR及び災害用食糧備蓄方法であるローリングストック法の啓発をするために、株式会社崎陽軒及び横浜ウォーカーと連携してコラボレーション商品を製作しましたので、御紹介します。



横浜市消防局×横浜ウォーカー×崎陽軒コラボ  
横濱かりい（3個入り）ローリングストックBOX

### 1 ローリングストック法とは

普段から食べ慣れた食品を多めに買って置き、それを定期的に消費し、消費した分だけ買い足して備蓄していく方法です。災害に備えながらも定期的に消費していくため、賞味期限の短い食品も非常食として扱えます。更に、食べ慣れた味は災害時のストレスを軽減するといわれています。

### 2 経緯

当局では、働きやすい職場づくりや市民サービスの向上のため、消防局改革推進委員会を設置し、様々な取組を進めてきました。消防局改革推進委員会とは、年齢や階級等を問わず、「職場をこんな風に改善したい！」「これまでの経験を活かして新しいことに挑戦したい！」といった熱意を持った職員が集まり、年度ごとに取組内容を決めて活動をするものです。今までの取組事例として、職員の声を反映させて現場活動で必要な情報を集約した独自の消防活動手帳を製作したことや、企業とコラボレーションしてご当地Tシャツを製作したことなどが挙げられます。

平成28年度は、横浜市政策局のテーマ型共創フロント※を活用した「横浜消防のPR・ブランディングと市民の防災意識の啓発」を取組の一つとして進めてきました。

※ 「テーマ型共創フロント」について  
「共創フロント」とは、行政と民間が互いに対話を進め、新たな事業機会の創出と社会的課題の解決に取り組むために、横浜市が設置した相談・提案窓口です。

「テーマ型共創フロント」は、その発展形として市から課題を提示し、公民連携の提案・アイデア及び連携事業者を公募するものです。

そして平成28年11月、横浜名物のシウマイ弁当でも有名な株式会社崎陽軒と連携してローリングストック法を活用した備蓄食糧商品（以下「ローリングストックBOX」という。）を製作することが決まりました。

また、株式会社KADOKAWA刊行の地域情報誌「横浜ウォーカー」とも連携して、平成29年1月増刊号の特集企画でローリングストックBOXについて紹介してもらうことで、横浜ウォーカーを愛読する幅広い世代に対しても広報することができました。



消防局改革推進委員会の様子



横浜ウォーカー掲載記事の撮影の様子

## 3 商品概要

商品の概要としては、当局のSR（特別高度救助部隊）の消防車両をモデルとした箱に、崎陽軒で生産している「横濱かりい」というレトルトカレーを3個詰めたものであり、箱の天面にローリングストック法の説明を分かりやすく表示してあります。箱の中のレトルトカレーを定期的に消費して詰め替えることで災害時の備蓄食糧として備えることができます。



ローリングストックBOXの中身



ローリングストックBOXの天面

## 4 効果

今回のコラボレーション企画によって、消防を市民にとってより親しみやすく、いつでも安心・安全を守る身近な存在としてPRすることができます。更に、ローリングストック法を啓発することができるため、大規模災害時の自助に係る市民の防災・減災意識の向上が期待できます。

当局としての費用負担はない中での取組であるため、広報活動の費用対効果としては非常に大きいと考えられます。

崎陽軒はこれまで横浜を盛り上げるために、自治体や企業とのコラボレーション企画に積極的に取り組んできました。そして、横濱かりい以外にもお粥や中華総菜などのレトルト商品を販売しており、ローリングストックBOXにそれらの商品を入れ替えて備えることも可能であるため、双方にとって良い相乗効果があります。

ローリングストック法の啓発についても賛同していただき、双方の想いが重なるコラボレーションを実現することができました。

## 5 販売開始

ローリングストックBOXは、横浜消防出初式2017に合わせて平成29年1月8日（日）から、出初式会場及び市内の崎陽軒63店舗において販売を開始しました。

出初式当日は途中から雨が降る中、65,000人の来場者があり、崎陽軒の出展ブースを訪れた消防ファンや子ども連れの御家族などが購入されていました。



横浜消防出初式2017会場写真

## 6 販売後の反響

販売開始の前に、消防局、崎陽軒及び横浜ウオーカーの3者で同時にプレスリリースをしたこともあり、販売前後で新聞やNHKの首都圏ニュースで取り上げられました。その他、インターネットやラジオといった数多くのメディアで紹介されたため、多くの人に対してPR・広報を実現することができました。

## 7 今後

大規模災害時の備えは、一人ひとりが考え、準備しておく自助・共助の心構えが重要となります。今回のコラボレーション企画が、ローリングストック法について一人でも多くの人に知ってもらい、日頃から災害への備えをしていただくきっかけとなれば幸いです。

横浜市消防局では、今後も市民の防災・減災意識の向上のための取組を積極的に進めてまいります。